

予見審査の結果

Phan Anh 氏提出の課程博士学位論文の予見審査結果を以下のように報告いたします。

学位論文題目：Estimating intervention-induced air pollution changes and tracking carbon neutrality progress employing the Digital Earth Systems Approach: Applications and Policy Implications (デジタル アース システムズ アプローチによる「介入事象がもたらした大気汚染の変化推定」と「カーボン ニュートラルの進捗状況の追跡」：その応用、政策への示唆)

1) 予見開始と終了日

開始日：2023 年 12 月 1 日

終了日：2023 年 12 月 4 日

2) 予見審査員及びその担当分野

主査 福井 弘道 (創造エネルギー理工学専攻空間情報科学分野)

副査 井筒 潤 (創造エネルギー理工学専攻空間情報科学分野)

副査 本多 潔 (創造エネルギー理工学専攻空間情報科学分野)

3) 予見における総合判定意見

本学位申請論文は、俯瞰的に全体像をとらえるといったデジタルアースシステムズアプローチから、COVID-19 や紛争、あるいは 2050 年の炭素中立の達成といった「大きな経済社会の変動が環境変化に与える全体像」をとらえ、その成果を今後の政策に生かすことを検討したものです。具体的には、様々な衛星画像、地上モニタリングデータ、気象データ、さらには各種統計データ等のビッグデータを、機械学習などの最新 AI 技術も組み入れて分析を行いました。

その成果は、既に当該分野で定評のある雑誌等に刊行された 3 編の査読論文と現在刊行準備中の査読論文 1 編およびプレプリント 1 編で発表されており、関連領域では高く評価され、今後の展開が期待されています。

以上から本予見審査委員は、学位論文として、その題目、論文の構成については少し検討の余地があるものの、学位論文としての要件を満たしており、本審査に進むことが妥当であると判定しました。

4) 他の審査員の必要性の有無

本審査では、研究内容の一部について、環境研究総合推進費で共同研究を行った、名古屋大学大学院環境学研究科の高野雅夫教授に副査で参加して頂く予定で、既に了解を得ています。

5) 人物等

Phan Anh 君は、2021 年 1 月から国費留学生と来日し、コロナ禍の中でも一貫して熱心に研究活動を行い、デジタルアースを活用した主として環境科学領域の研究を深化させてきました。主査の研究プロジェクトに積極的に参加をして貢献するとともに、大学院の後輩を研究面を中心に指導を行うなど学生指導の面でも貢献している、とても真面目で信頼できる人物であり、その真摯な研究態度は学生の模範となるものです。

2023 年 12 月 4 日

主査 福井 弘道

副査 井筒 潤

副査 本多 潔